

事務事業評価表 平成24年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実  
 施策 子どもの可能性を伸ばす教育の充実  
 基本事業 施策の総合推進

事業名 東野幌小学校敷地内物件移転事業 (中原通街路事業関連)

[0969]

部名	教育部	事業開始年度	平成23年度	実施計画事業認定	非対象
課名	総務課	事業終了年度	平成23年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 東野幌小学校
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 拡幅による道路用地内の電気及び給水設備を撤去する
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 中原通1拡幅による道路用地内の電気設備移設と給水設備改修

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	校数	校			1	0
対象指標2						
活動指標1	移設、改修必要件数	件			2	0
活動指標2						
成果指標1	移設、改修実施件数	件			2	0
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	6,943	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,605	0
総事業費 (A) + (B)		千円	0	0	8,548	0

費用内訳	
23年度	委託料 493千円、工事請負費 6,450千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始  
背景

事業を  
取り巻く  
環境変化

## 23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

道道の拡幅事業であり、財源は支障物件移転のための北海道からの補償費が充てられる。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

江別の顔づくり事業の一環として計画が進められている中原通りの拡幅のための物件移転であり、貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由  
・  
根拠は？

物件移転が完了し、平成23年度にて事業終了

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

物件移転が完了し、平成23年度にて事業終了

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由  
・  
根拠は？

物件移転が完了し、平成23年度にて事業終了